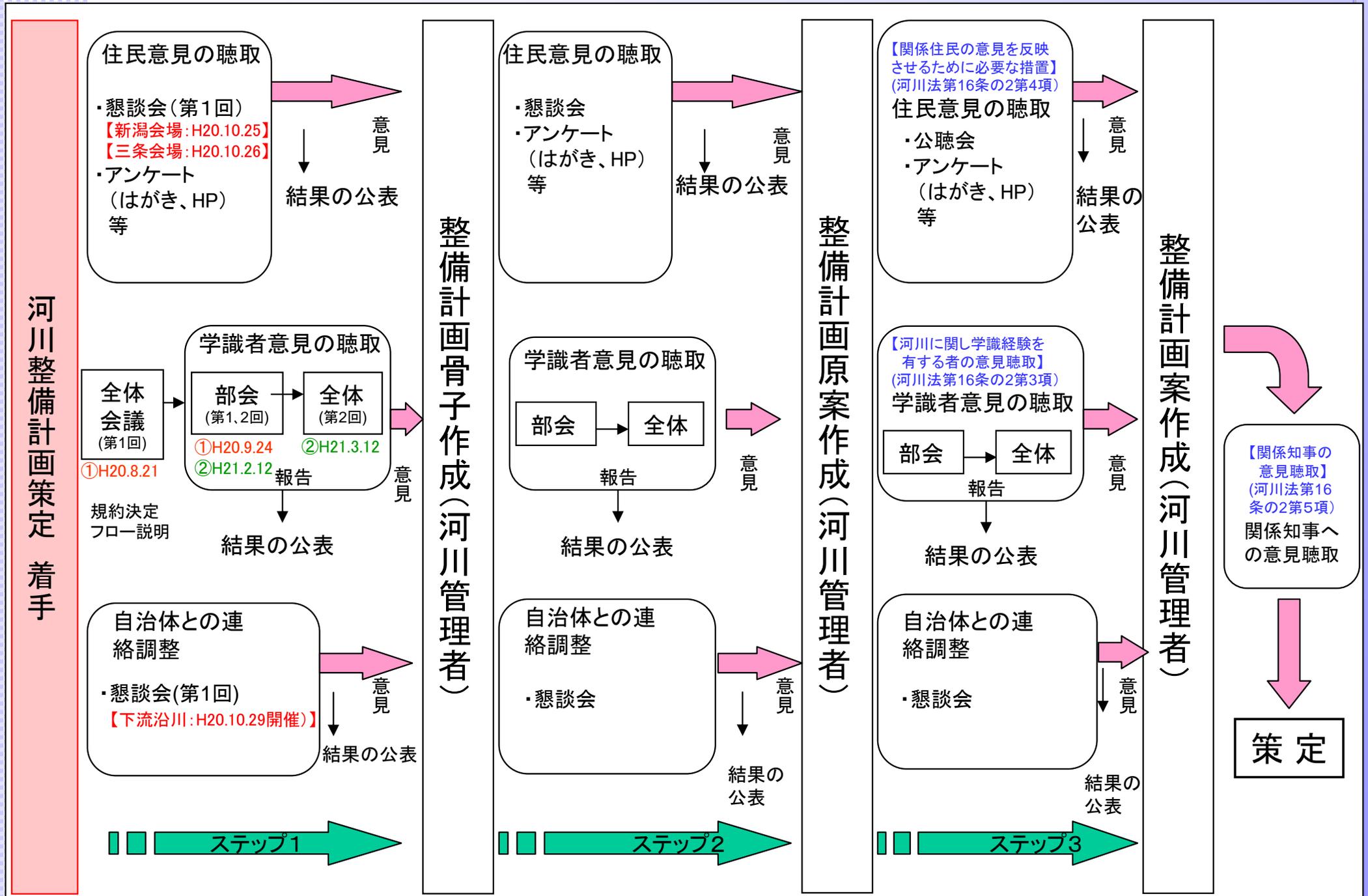


信濃川水系河川整備計画の策定フロー



信濃川水系河川整備計画 第1回信濃川下流沿川自治体懇談会 議事要旨

開催日時：平成20年10月29日（水） 14：00～16：00

場 所：NSG 学生総合プラザ「STEP」4階中研修室

- 議事次第：1. 開会
2. 挨拶
 3. 説明事項
 - ①河川整備基本方針、河川整備計画について
 - ②信濃川水系河川整備基本方針の概要について
 - ③信濃川[下流]の現状について
 4. 質疑
 5. その他
 6. 閉会

○意見

（新潟市）

- 支川の中ノ口川については、上流で本川と分派し下流で再び合流するという性質上、運用計画的なものを整備計画の中で位置付けて欲しい。
- 既存ストックの有効活用という観点で、たとえば大河津分水での逆流（信濃川下流の水を大河津分水路に分派する）、小阿賀野川から阿賀野川へ分派する等について、可能性も含めて検討してほしい。（技術的に可能である場合には）ソフト面での活用を検討してほしい。
- 超過洪水対策としてのネック箇所の対策を考えて欲しい。具体的には橋梁の桁下高や幅の不足等に対する超過洪水対策を考えてほしい。また、長大橋の改築の際には膨大な費用がかかるので、橋架の改築（ネック箇所の解消）を整備計画の中で位置づけ、河川管理者の負担を明確にしてほしい。
- 新潟市としては、「水都新潟」ということで舟運に力を入れたいと考えている。その中では、（小阿賀野川を通して）信濃川水系と阿賀野川水系の連携した舟運というものを考えていきたいと思っているので、検討をお願いしたい。
- 国や新潟市で整備してきた防災船着場については、計画上の整備（利活用方法の整備）が途上であるので、位置づけを明確にしていきたい。例えば、水上ステージのようなものが「りゅーとぴあ」の前あたりにできれば、防災兼水上市場、イベント会場などとして「水都新潟」として非常にヒットする場所になるのかなと考えている。
- 高齢者の避難には時間を要するという中で、新潟市の水害を考えた場合には内水被害が多い状況であり、2階へ避難する方法が取られるが、どのくらい時間が経過すれば水位が下がるのかといった情報もあわせて検討いただいて、ソフト面に反映していきたいと考えている。

(三条市)

- 三条市では、4年前の被災を受けて五十嵐川の災害復旧事業を進めていただいているが、まだ将来形の整備ではなく、上流部の県管理区間には未整備箇所も残っており、最終的には100年に1回くらいの流下能力を確保してほしいと考えている。その為にも、(受け皿としての)本川の整備計画を早期に作っていただきたい。
- 五十嵐川合流点付近の旧三条競馬場では、来年の新潟国体で馬術競技会場として使用されることになっているが、国体の終了後は三条市の占用地として何らかの整備をする必要があると思っているため、河道内ということで制約がある中で、国土交通省にもご協力をお願いしたい。

(燕市)

- 信濃川本川と大河津分水路に囲まれた地域であり、燕市としては治水が一番大事と考えている。
- 大雨のときに洗堰をシャットアウトすれば流下する水も少なくなると認識しているが、(上流部には)無堤地区が依然として残っており、30~40年の整備計画の中で対策を行ってほしい。
- 中ノロ川については、逆流した実績があること、いわゆる調節池的な役割もあると思われること、カミソリ堤などの区間も存在することなどから、地方分権の流れとは逆行するが直轄化をお願いしたい。

(長岡市)

- (長岡市は旧中之島町地区が対象になるが、)刈谷田川合流点については復緊事業の効果で本当に良くなったと思うが、合流点上流は無堤であり、整備計画の中で築堤することを明確にしてほしい。

(加茂市)

- 中ノロ川の直轄化をお願いしたい。

(田上町)

- 田上地内の復緊事業は概成し、才歩川、山田川については県に工事して頂き、治水面では安全になったと思う。今後は、曾根新田地先で自然環境や河川空間について、地元で広場の計画を考えているのでご協力いただければと思う。
- 復緊事業の今後の見通しと最終形がいつ完成するかを教えて欲しい。

(新潟県)

- 中ノロ川については、各市町の意見を聞き、本川とのバランスも考慮しつつ、関係機関と協力して対応していきたい。
- 蒲原大堰、中ノロ川水門の操作規則について、本川及び中ノロ川の整備段階毎に見直しをしていくものと認識している。

(新潟市)

- 教育という観点から、関屋分水路の資料館の活用、水辺の学校、ワンドの利用等に対する(河川)整備、さらにはまちづくりの観点からは、働く場所(雇用の創出)が増

えるような整備計画となるよう期待する。

(加茂市)

- 復緊事業による築堤により、以前のように大河信濃川を眺めながらのドライブができなくなった。この景観は地域の象徴的なものであるので、観光面の観点からも整備をお願いしたい。
- いざという時のためにポンプ車をもう少し配備すべきではないか。H16.7.13 水害の時には大正川の内水の排除に非常に効果的であった。

(三条市)

- 旧三条競馬場の跡地利用については、「道の駅」ではないが「川の駅」的なものを整備して集客を見込めるイベントなどを実施したいと考えている。

(燕市)

- 中ノ口水門に閘門の設置をお願いしたい。

信濃川水系河川整備計画 新潟県内（下流部）住民懇談会 実施状況

【住民懇談会での意見等について】

住民懇談会では、信濃川下流河川事務所より「河川整備基本方針」及び「河川整備計画」の制度概要、「信濃川下流の現状」について説明した後、河川整備に関する意見を伺いました。

意見の趣旨・具体的な箇所等については、会場に対話形式にてお聞かせ頂きましたが、皆様のご意見を具体的に文書化する事が困難なため、項目のみを箇条書きさせて頂きました。

皆様から頂いた意見については、計画検討の参考にさせて頂いています。

参加頂いた皆様におかれましては、大変ありがとうございました。

【新潟会場】

1. 日 時 平成20年10月25日(土) 14:00~16:00
2. 場 所 万代市民会館 4階 会議室
3. 参加者 9名
4. 意見質問等
 - 新潟市（下流部）については、やすらぎ堤のような場所を増やして欲しい。
 - 植樹を推進して憩いの場所を作って頂きたい。
 - 整備に当たっては、川から見た場合の景観を考える等のことが重要。
 - 近年、市民の川（河川行政）への関心の薄れが一層強くなっている。市民が川に対し関心を持つような活動をしていく必要があるのではないか。

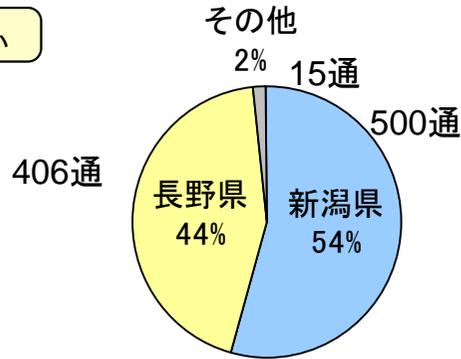
【三条会場】

1. 日 時 平成20年10月26日(日) 14:00~16:00
2. 場 所 三条市役所 第二庁舎 301会議室
3. 参加者 9名
4. 意見質問等
 - 日本海から船で遡上し、大河津に抜ける舟道の整備。
 - 昔のような舟運の活性化。
 - 今後、農業、工業とのコミュニケーションを考えているのか。
 - ここ10年については雨の降り方が変わってきており、雨量が増えてきていると考えられる。基本方針で定めている計画降雨規模（150年に1回）が、100~120年に1回程度といったように引き下がっているのではないか。
 - 三条競馬場跡地の利活用は整備計画に盛り込まれるのか。

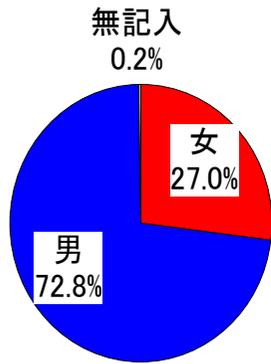
信濃川流域住民アンケート 集計結果

河川整備計画策定に向け、川に関するご意見を「郵送」、「FAX」、「インターネット」にて、お受けしてきました。平成20年12月末現在、921通のご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

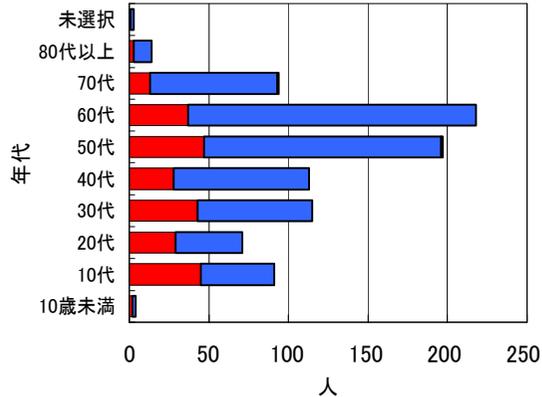
質問 どちらにお住まいですか



質問 性別を教えてください

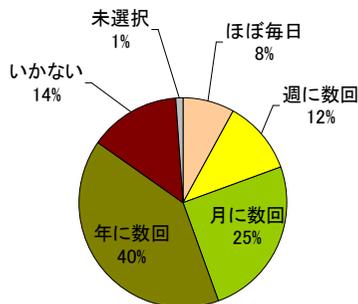


質問 年齢を教えてください



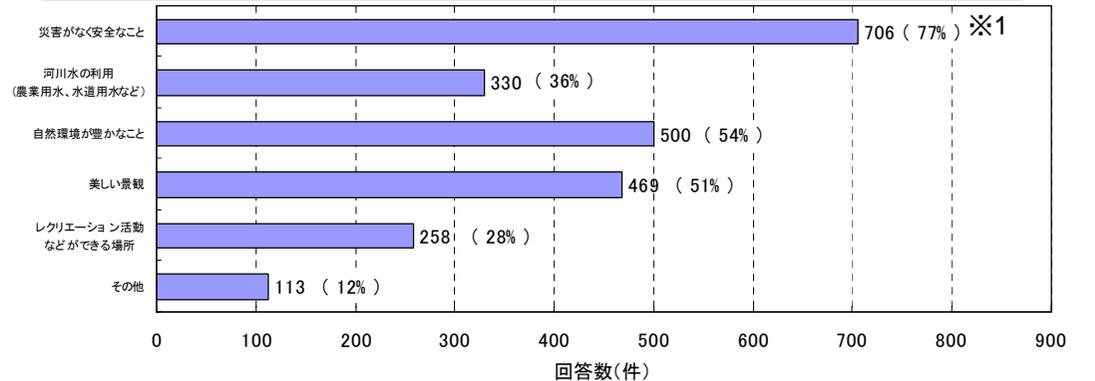
質問 あなたはどれくらいの回数、川へ行きますか

- 1: ほぼ毎日
- 2: 週に数回
- 3: 月に数回
- 4: 年に数回
- 5: 行かない



質問 あなたが川に求めるものは何ですか(複数回答可)

- 1: 災害がなく安全なこと
- 2: 河川水の利用(農業用水、水道用水など)
- 3: 自然環境が豊かなこと
- 4: 美しい景観
- 5: レクリエーション活動などができる場所
- 6: その他



※1 ご意見総数 921通にしめる割合

質問 その他、川に関してご意見、ご希望等ご自由にお書きください。

アンケートにおいて、総数587通のご意見をいただきました。

いただきましたご意見は

- ・築堤や河道掘削など治水事業による安全な川づくりに関するもの
 - ・河川利用のための整備や川に親しむことができる川づくりに関するもの
 - ・「環境への配慮」「景観」「外来種対策」「水質関連」の河川環境に関するもの
 - ・「ゴミの不法投棄」「樹木伐採、除草」「土砂堆積」の維持管理に関するもの
- が主なものでした。